



第 35 号  
編集・発行  
信州大学附属図書館  
繊維学部分館  
平成12年4月10日

---

CONTENTS

---

図書館について思うこと	分館長	平井 利博	(2)
私の読書遍歴 (4) 私の好きな詩人 その1	機能高分子学科	近藤 慶之	(3)
変わるもの 変わらないもの - いろいろな辞典の話 -	応用生物科学科	金勝 廉介	(10)
分館通信 告知板			(18)
分館日誌			(20)
編集後記			(20)

---

Library(電子版)はインターネットでも提供しています。  
URLは <http://shinlif1.shinshu-u.ac.jp/online.html> です。

## 図書館について思うこと

素材開発化学科 平井利博

この四月より図書館に関わることになった。

図書館と聞いて私がまず思い浮かべるのが静寂の中に凜とした緊張があり、それでいて泰然として悠々とした雰囲気である。その理由は、圧倒される書籍の量であり、古今の先人の知恵や努力の集積がそこにあるという一種畏敬の念を抱くからである。そして、学問の府である大学はその中核に「知の殿堂」として図書館をもつというのが私のイメージで恐らくは古典的なものであろう。若い頃、米国の大学に暫く勤務していたことがある。その中で受けた強烈な印象の一つが図書館に関するものである。

図書の充実ぶりに圧倒されたことがその一点。その頃(25年前)でさえ、担当者は予算の逼迫を憂えながら格闘していた。が、現在の、ことに信州大学の図書の貧弱さはそれとは比較にならない深刻さである。(それでも、繊維学部分館は多くの他大学や他学部に比べるとまだずっとましな方であると思える。)繊維学部分館は、特定の領域については歴史的にも重要なものを所蔵していると聞いているけれども、それは当時の経費の充実ぶりによるものであって、今日の窮状の中で獲得しているものではないが、図書館の重要な役割の一つである。米国では特に、研究図書は勿論、学生図書の充実は印象的であった。同じ参考書が何冊も用意されていて、何人かが同時に利用できるような配慮がなされていた。

これに関連して、学生による図書館の利用率の高さは、現在の日本でそれを説いても誰も信用しないくらい高かった。自習室の席の占有率で見ると平日で80%以上、試験が近づくとほぼ満席。これがその2点目。

図書館は毎日、夜12時まで開館。それで、この高い占有率であり、しかも話し声は殆ど聞こえない静粛な環境が保持されていた。如何に彼らが良く勉強しているかが想像していただけるであろう。しかも、ほぼ全ての講義についてビデオが撮られていて、図書のビデオ室に50台程度のビデオプレーヤが用意されており、申し込めば全ての院生・教官がそれらを見ることのできた。ここでもだいたい10名程度はいつも利用していた。私が所属していたのは医学部(大学院)であり、院生は毎週のような試験に追われ放しの状態であった。他の学部レベルではどうかというと、これまたほぼ同じで、中央図書館の開館時間は夜12時まで、若干低いとはいえ70%を下らない自習室の利用率である。とにかくよく勉強していた。これでは国際競争に負けて当然という気持ちにさえなる。現在、35番教室にあるビデオ装置に相当する機器は従って当然のようにほぼ全教室に設置されていたことになる。

なぜ、こんなことを書き始めたかということ、学部の国際外部評価と符合する点があったからであり、如何に日本の大学が教育を疎かにし、教育技法の開発に無頓着であったかを思い知らされているからである。昨今の大学を困む状況にも関わらずそれに向けての対応は遅々としたものがある。焦りを覚えるのを禁じ得ない。

一方で、学生諸君に訴えたいのは、図書館をもっと使えということ、そして、必要と思われる要望を出さないということである。要するにもっと主体的に学ぶ姿勢を持ち、それに必要な環境整備を我々に突きつけて貰いたい。大学の構成員としての自覚を持って学生諸君が勉学に勤しみ必要なものを求めれば大学生活はずっと素晴らしいものとなると思うし、それに向けて努力することが図書館に関わるものの責任である。

## 私の読書遍歴

### (4) 私の好きな詩人 その1

機能高分子学科 近藤慶之

私は2000年(ミレニアム)の正月に還暦を迎えました。今年は辰年、「翔龍」という喜ばしい言葉もありますが、嬉しいような、そうでないような痛し痒しの気持ちです。

去年8月、東工大の夏季セミナーで那野比古(本名井上一郎)さんの講演を聴く機会に恵まれました。それはY2Kの2000年問題です。お話を拝聴した印象は一言で、色々なことでトラブルが起きる可能性がありますのでご注意ください!! でした。その時、丁度「2000年問題の危機管理」(PHP研究所発行)が出版された矢先でしたのでわたしも興味をひかれ買って読んでみました。一番心配していた2000年の正月はたいした問題も起きずにほっとしましたが…。2月29日の閏年(2000年閏年と判断しているか?)。3月31日の2000年最初の年度末処理(年度末処理を正常に実行できるか?)。これらも、さほど大きなトラブルがなくてよかったですと思います。

去年の暮、東京銀座4丁目のミキモト本店で「夢2000年(ミレニアム)が遠い未来だった頃」と題した展覧会が開かれたようです。ざっと100年前に欧米や日本の絵かきたちが「未来」の生活を想像して描いた雑誌のイラストなどが豊富に集められていたそうですが、見に行けなくて残念でした。ご存知のように19世紀後半から20世紀初めにかけて、さまざまな発明品が世に出ました。ベルの電話、エジソンの白熱電球、ライト兄弟の初飛行、コッホによる結核菌の発見、アインシュタインの相対性理論などなど。人々は科学技術の発展に満幅の信頼を寄せた。だから未来図も確信に満ちて、色々夢のある想像力たくましい予想ができたのでしょう。さて、来たる21世紀はどんなものなのでしょうか?

成田きんさん、蟹江ぎんさんは長く生きてきた人への敬意を表し、我々の人気者であった。きんさんが1月の末に108才の生涯を閉じました。まさに、永六輔さんのいう大往生でありました。人の寿命が大幅にのびて還暦(60)、古希(70)、喜寿(77)、傘寿(80)、米寿(88)、傘寿(90)、白寿(99)と、ここまでは広辞苑にもものっておりますが、最近では茶寿(108)、皇寿(111)までであるようです。きんさんは茶寿までの天寿を全うされたわけです。妹のぎんさんには何とか皇寿まで、あと3年生きながらえていただきたい。

そろそろ本題に入りましょう。木村尚三郎先生(東大名誉教授)が言われるには、20世紀の飛躍的な科学技術の発展は理性による人間の無限の可能性を確信し、ありとあらゆる色や形、音、味などを生み出したために、我々は何ものにも感動しなくなり感性が鈍ってしまったことを嘆いております。巨大化した技術文明・都市文明が生み出す不快な色、形、音、匂いなどが蔓延ってしまった現代に効く特効薬は、もっと、もっと、簡素美に生きがいを見つけなければいけないと力説しております。このような時代

に打って付の詩人は前回(3)にも紹介しましたが書家でもある相田みつをさんでしょう。これからの感性教育には、ぜひ“心の豊さ”をはぐくむ詩の心を会得するのがよいと考えます。最近出版された「簡素に生きる」太田愛人著、信濃毎日新聞社出版局にも目を通して、21世紀の人生指針の糧にしたいものです。相田みつをさんの詩を四篇程あげます。

「ひとりでもいい」

あなたにめぐり逢えて  
ほんとうによかった  
生きていてよかった  
生かされてきてよかった  
あなたにめぐり逢えたから

つまづいてもいい  
ころんでもいい

これから先  
どんなことがあってもいい  
あなたにめぐり逢えたから

ひとりでもいい

ここから  
そういつて  
くれる人が  
あれば

「七転八倒」

つまづいたり  
ころんだり  
するほうが  
自然なんだな  
にんげんだ  
もの

「いのちの根」

なみだをこらえて  
かなしみにたえるとき  
ぐちをいわずに  
くるしみにたえるとき  
いいわけをしないで  
だまって批判にたえるとき  
いかりをおさえて  
じつと屈辱にたえるとき  
あなたの眼のいろが  
ふかくなり  
いのちの根が  
ふかくなる

「ぐち」

ぐちをこぼしたって  
いいがな  
弱音を吐いたって  
いいがな  
人間だもの  
たまには涙を  
みせたって  
いいがな  
生きているんだ  
もの

やさしい心を通して生命いのちのすばらしさを教えてくれる詩人といったら星野富弘さんでしょう。相田みつををさんは書と詩ですが富弘さんは絵と詩のバランスがうまく調和され、とても素直な感動の記録といえましょう。そのうちのいくつかをのせます。

「オダマキ」

花だって  
ほめてあげた  
ほうが  
元気に  
なるんだ  
そうですね  
だれかが  
そんなことを  
いったのを  
花に  
思い出したら  
絵を見られるのが  
こわくなった

「ドクダミ」

おまえを大切に  
摘んでゆく人がいた  
臭いといわれ  
きらわれ者のおまえだったけど  
道の隅で  
歩く人の  
足許を見上げ  
ひっそりと生きていた  
いつかおまえを必要とする人が  
現れるのを待っていたかのよう

おまえの花  
白い十字架に似ていた

「ナズナ」

神様がたった一度だけ  
この腕を動かして  
下さるとしたら  
母の肩を  
たたかせてもらおう  
風に揺れる  
ペンペン草の実を  
見ていたら  
そんな日が本当に  
来るような気がした

「かぎりなくやさしい花々」(借成社発行)は1986年6月、1刷で1998年6月148刷にもなっています。

最終ページ(168P)の最後の2行には

お心を口の筆とともに、しっかりとかみしめ、これからも、からだのゆるすかぎり、書きつづけて  
いこうと思っております。

でしめくくっています。

サントリーの元社長、佐治敬三さんは去年11月の初めに亡くなった。11月5日の“天声人語”を読むと、その人柄がしのばれる。「よく学び、よく遊べ」という言葉がある。「よく遊び、よく学べ」と逆転しないように勉強しましょうと先生方は学生に言いたいところですが!! サントリーに勤めていて作家になった著名な人といえば故山口瞳さんと故開高健さんです。山口さんは<世の常の会社とは、どこかが違っている>と。開高さんは<夜、来たる／オレ、寝る／寝酒(トリス)、飲む／眼、とける>と。車のハンドルには「遊び」が必要だ。「遊びがないと、走行が不安定になる。会社の経営も同じで社員を人間として信頼せず、単なる数と考えると、人心を離れてしまう」勉強も人生もそうなのかなあ! 佐治さんのような、いい機微を知ることは大変なことでしょうか? ちょっと道草したので本題に戻ります。

わかりやすい詩人といえば茨木のり子さんでしょうか。思潮社発行、現代詩文庫 20「茨木のり子」は1969年3月1日、第1刷で、1996年6月1日、第24刷を生協で買い、今も、たまたま読んでいます。ちょっと活字が小さいのがたまにきずですが、しばし目を細めて読むのも、また乙なものである。ざっと70篇ほどが紹介されておりますが、皆、とても人の心を解き放してくれる魔力があります。

「海を近くに」

海がとても遠いとき  
それはわたしの危険信号です  
わたしに力の溢れるとき  
海はわたしのまわりに 蒼い  
おお海よ！ いつも近くにおいて下さい  
シャルル・トレネの唄のリズムで  
七つの海なんか ひとまたぎ  
それほど海は近かった 青春の戸口では  
いまは魚屋の店さきで  
海を料理することに 心を砕く  
まだ若く カヌーのような青春たちは  
ほんとうに海をまたいでしまう  
海よ！ 近くにおいて下さい  
かれらの青春の戸口では なおのこと

昨年の10月に「寄りかからず」が筑摩書房から出版されました。“ひとりで立つ美しさを教えてくれる本”として好評を得、たちまち12月に5刷までいきました。

「寄りかからず」

もはや  
できあいの思想には寄りかかりたくない  
もはや  
できあいの宗教には寄りかかりたくない  
もはや  
できあいの学問には寄りかかりたくない  
もはや  
いかなる権威にも寄りかかりたくない  
ながく生きて  
心底学んだのはそれぐらい  
じぶんも耳目  
じぶんの二本足のみで立っていて  
なに不都合のことやある

笑いには Laugh(ラフ)と Smile(スマイル)とがあります。ラフは相手のアクションを受けての受動的なもので、スマイルの方は自分の方から笑いかける能動的な笑いである。「ラフ」笑いは健康によい。「スマイル」笑いは本人にプラスするだけでなく、相手の心をも動かす効果があるといわれている。美しいスマイルは相手の心を和らげるだけでなく、表情をいきいきと若返らせ、肌を美しく保つ効果もあるといわれていますので、ぜひ、おすすめしたい。作り笑いも大いによいとは角辻診療所で大阪大学、医学部講師の角辻<sup>すみつじのぼる</sup>豊さん。笑いは自律神経系に緊張と弛緩の程よい波を作り出すのがよいのだと説明しています。

「笑う能力」(抜粋)

言葉の脱臼 骨折 捻挫のさま  
 いとおかしくて  
 深夜 ひとり声たてて笑えば  
 われながら鬼気迫るものあり  
 ひやりともするものだが そんな時  
 もう一人の私が耳もとで囁く  
 「よろしい  
 お前にはまだ笑う能力が残っている  
 乏しい能力のひとつとして  
 いまわのきわまで保つようには  
 はイ 出来ませれば  
 山笑う  
 という日本語もいい  
 春の微笑を通りすぎ  
 山よ 新緑どよもして  
 大いに笑え!  
 気がつけば いつのまにか  
 我が膝までが笑うようになっていた

最近、“モーツァルト効果”についての話題をよく耳にします。モーツァルトの曲を聴かせると赤ちゃんの脳の発達が促されるとか酒がまるやかになるということである。モーツァルト効果は研究の誇張であると米国マクダル財団の J.ブルア総裁が水を差しています。いずれにしても赤ちゃんの脳に効果がなくても、聴いている親たちの心をいやし、ひいては子供たちの健やかな発育につながるのではないかとも思われます。

こんなことを考えていると、何だかよくわかりませんが子供から大人まで“優しさをもったいい気分”にさせてくれそうな詩人といえばサトウハチローさんの出番でしょうか。今から 20 年以上も昔、「詩集 おかあさん」の本を持っている友達から見せていただいた記憶があります。優しいおかあさんや無邪気な子どもたちの表情が沢山うかんでくる素晴らしい詩集であったことを思い出します。1 昨年(1998 年)10 月に「詩集 おかあさん」全 3 巻が日本図書センターから出版されましたので、早速、購入して読んでおります。1 巻から 3 巻まで、じつに 220 篇の多作であり大作でもあって、本当に多くのおかあさんから多くの子供たちに読んでいただきたいと考えます。わたしの選んだ 4 篇の詩を記します。

「かあさんは かあさんは」

かあさんは かあさんは  
おもゆのおねば  
おじやの匂いのある湯気

おこげのおむすび  
おこわの上の黒いゴマ  
あたためたミルクのうすい皮  
あまいよく しそパン ハツカのおかし

年が経つにつれて  
悲しく悲しく その味が

舌の奥の奥の奥に よみがえる  
よみがえる

「おかあさんの匂い」

おかあさんの匂いは どんな どんな匂い  
朝はかまどの けむりの匂い  
昼はおべんどの おかずの匂い  
晩にはかすかな おふろの匂い

おかあさんの匂いは どんな どんな匂い  
春はうれしい ちようじの匂い  
秋はやさしい もくせい匂いの匂い  
冬はひなたの ふとんの匂い

おかあさんの匂いは どんな どんな匂い  
ひぎにだかれりや くず湯の匂い  
おはなしなされば おも湯の匂い  
うたをうたえば レモンの匂い

おかあさんの匂いは どんな どんな匂い  
ねえさんかいもうとに よくにた匂い  
おまどに いろりに ただよう匂い  
わかった わたしの おうちの匂い



「わたしのわたしの三つのねがい」

わたしのわたしの三つのねがい  
早く大きくなつとくれ  
行ってまいりますとただいまを  
いつまでも忘れずにいつとくれ  
それから いまのように いまのように  
永久えいきゆうに「ああちゃん」とよんどくれ

「母を慕したう」

母を慕したう  
わが心 すなおなり  
母にそむく  
わが心 いがむなり  
このふたつ  
いつも母の姿につながり  
からみあいて この年までつづきぬ  
あわれにしておかし

谷川俊太郎、川崎洋、吉野弘、金子みすずなどの詩人については次回(5)で紹介したい。

おわりに、好きな教訓の言葉でしめましょう。二年次生には、松本キャンパスでの講義に紹介しましたよね。

## 夢と人生

夢ある人には 目標あり  
目標ある人には 計画あり  
計画ある人には 実行あり  
実行ある人には 成果あり  
成果ある人には 幸福あり  
幸福ある人には ロマンあり  
ロマンある人には 夢がある

続く

次回(5)のテーマは、私の好きな詩人、その2です。

応用生物科学科 金勝廉介

この小文は、教養人揃いの教職員の方々にとっては釈迦に説法のような話題です。たまたま本号が新たに進級した2年生諸君のガイダンス時に配られると聞きました。これから学生実験や授業で毎週のようにレポートを書くことになる学生の皆さんに少しでも日本語辞書選びの参考になればと思い、辞書・辞典についての話題を取り上げることにしました。

自分が本当に使いやすいと思う辞書をいつでも手の届く所に置いて、常に言葉使いや漢字づかいの正確を心掛けることは、学生の皆さんにとってとても大切なことです。

### 広辞苑との出会い

私にとって、そのような意味で心から使いやすいと思い、日頃から活用している日本語辞典は、多少月並みな答えかも知れませんが、岩波書店の「広辞苑」です。えー、あんなに大きくて重そうな本を ..... と思われる人も多いかも知れませんが、安定感あるこの辞典を机の上にどんと置いて扱うのは決して大儀ではありません。それでもと言う人たちのためには、Windows / Macintosh 双方の OS に対応できる CD-ROM 版も供給されていて一発の操作で目的の項目が出せたり、関連項目にジャンプすることも簡単にできるそうです。

広辞苑は一昨年(1998年)の秋に最新版である第5版が発売になりました。第1版(初版)の発行が1955年で、以後、第2版1969、第3版1983、第4版1991年でしたから、改訂のペースが14年 → 14年 → 8年 → そして7年と、段々速まって来ています。それだけ日本語の変化が激しくなっているということなのでしょう(1-5)?

第5版発売にあたっては、いろいろな分野の著名人が、広辞苑に寄せる思いを書いています。どの小文も面白く、さすがに言葉のプロと感心させられます<sup>(6)</sup>。もとよりそんな日本語の専門家たちの足元にも及ぶわけがありませんから、あまり偉そうなことは書けませんが、それでも私達にもわたくしたちなりにこの辞典によせる多少の思い出はあります。



歴代の広辞苑。薄手のクロースによる装丁はたいへん丈夫で、初版以来かわっていない。本の大きさは標準の菊判の他、少し大型(B5サイズ)の机上版がある。将来老眼になる見込みの人には机上版がお奨め。文字が大きくてはるかに楽に読める。

私が高校時代を過ごした学校で一年生のときの担任と国語科の担当を努めて下さった先生を、今ここでは先生自らが称していた呼び名にならって「K先生」としておくことにしましょう。教室であてられた生徒が「わかりません」と答えて済ませてはいけません。答えの正否は問わないから必ず何か発言するようにという、ごく当たり前のマナーを教えて下さった。そして当然のことながら、先生を積極的に活用しようとする生徒には体じゅうの全情熱で応えて下さった。私たちに近代文学の、古典文学の、そして国語そのものの楽しさを教えて下さったのもこのK先生でした<sup>(7)</sup>。

さて、そんなK先生が、一年生の国語の授業が始まって間もなくの頃、クラスの全員に、「格好の国語辞典があるから、持っていない者は買って自宅学習に活用するように」との案内を出されました。大抵の高等学校だったらすぐ近くに、クラブ活動からの下校時の生徒達をねらって小さなパン屋さんが店を構えているものです。浦和高校の場合も同じで、正門の真向かいに一軒あったパン屋さん(本屋ではない!)にK先生は交渉して、広辞苑の取り次ぎと、ひと月 230 円の無利息 10 か月分割払いの便宜を図ってくれたのでした。

たかが 230 円 と笑ってはいけません。温度が 10°C上がれば化学反応の速度も 2 倍になるように、10 年たてば物価だってゆうに 2 倍にはなることでしょう。当時の一冊 2,300 円が今の時代のいくら位に相当するだろうか? K先生のこんな配慮がなかったら広辞苑は「高嶺の花」のままで終わってしまったかも知れないし、悪くすれば存在を知らないままでいたかも知れません。こうして手にした広辞苑はその後常に私の良き相談相手を務め続けてくれました。初版の帯のキャッチフレーズ《あなたの終生の伴侶》そのものに。

そして以後、版が改まる度に、他人からは「そんなに同じものを何冊も持って一体どうするの?」と笑われながらも必ず購入することにしています。せっかく買ったのですから、最新の版は研究室に置いて、卒論の学生諸君に自由に使ってもらっているのです。

他に卒業祝いや結婚祝い等のプレゼントのために買った数は 20 冊 で足りるかどうか?

## 私たちに関連深い言葉から

それでは、この手元にせっかく全ての版次が揃っているのだから、ある言葉に着目して、それが最初に収録された版の記述と最新版の記述とを対比してみて、時代と共に変化する言葉の姿を楽しんでみることにしましょう。

まずは、この上田周辺・長野県に関連深い言葉から扱ってみます。

### I. みすず

ご存じのように、「みすず刈る」とは信濃 —— つまり長野県にかかる、たいへん美しい響きをもつ枕詞(まくらことば)です。一体この「みすず」とは何のことでしょうか。

### みすず【水篤・三篤】

- 《初版》 スズタケの異称。一・かる【水篤刈る】《枕》「しなの(信濃・科野)」にかかる。
- 《5版》 スズタケの異称。一・かる【水篤刈る】《枕》(万葉集の「水薦刈」(ミコモカルと訓む)を誤読したもの)「しなの(信濃・科野)」にかかる。

このように、「みすず刈る」の「みすず」は篠竹の類の笹の仲間の植物を表す言葉です。山地に多く生える植物ですからこれだけで長野県を代表するのに充分かと思っていたら、どっこい事情はもっと複雑で、もともとはミコモ(コモ)、つまり沼地に好んで生育する、同じイネ科でも笹とは異なる植物が本来の姿だったらしいことが、最新版から知られるのです。

なお、信濃を「科野」と書くことに戸惑いを感じている人がいるかも知れませんが、その例は結構多く見られます。大学正門を出て西に歩いて最初に突き当たる神社・通称「大宮さん」は、3抱えにも余るような堂々たる櫨の老木からしても、いかにも由緒正しい神社であろうことが想像されます。正式には「科野大宮社」。科野の“科”とは、やはり山地に好んで生育する広葉樹・シナノキに由来する呼び名だと思われまふ。以上の植物の種に関する説明や記述としては何と言っても牧野富太郎博士の図鑑が頼りになります<sup>(8)</sup>。

また「みすず刈る」の言葉を巧みに商品名に取り入れたのが「みすず飴」。上田駅から大通りを少し上がった左手に、歴史を感じさせるような御影石づくりの誠に堂々とした構えの店があります。飯島商店というこの老舗を代表する銘菓がみすず飴です。

不思議なことに、このみすず飴については、大好きだと言う人と、全然おいしいと思わないと言う人と、意見が極端に分かれるようです。それでも天然果汁と寒天からなる健康的なお菓子です。とりわけ寒天は食物繊維の中でも特に体の調子を整えてくれる効果の高い「水溶性食物繊維」にグルーピングされる食品材料です<sup>(9,10)</sup>。どうか皆さんせつせと食べることにしましょう。

## II. ずく

長野県外からこの信州大学にやって来た学生諸君は、街のおじさん達や下宿のおばさんたちが、「このところどうもずくが出なくて」とか「まあ、ずくのあることで」などと話すのを不思議な気分で耳にした経験を、少なからずお持ちのことではないでしょうか？

広辞苑では「ずく」が単独では見出し語にはなっていません。

### ずくなし【ずく無し】

- 《初版》 役に立たない者。怠け者。不精者。
- 《5版》 役に立たない者。怠け者。不精者。

と書いてしまえば、たしかに間違いとは言えないにしても、何となくその微妙な意味合いを伝える説明とは言い難いようです。要するに地方の言葉は一種独特の複雑な意味と雰囲気表現するものなので、これらはいわば体で伝えられ、活用されているものなのです。辞書の説明をもってしても意味を完全に表わしきれないのは、ちょうど伝統音楽が口伝で継承されるもので、とてもこれを五線譜で表わすことができないのと事情が似ています。

同じようにこのあたりの独特の言葉づかいで「お静かに」という使い方も面白いと思います。食事をしている人のそばを通る時に「食事中ごめんなさい」位の意味でかける言葉なのだと思います。

これには実際にあった笑い話があります。下宿先のダイニングで仲間どうしおしゃべりしながら食事していた学生たちの近くを大家さんが「お静かに～」と言いながら通って行った。その直後、ある東京出身の女子学生はぴたりと話をやめて食事に専念したとか。ひょっとしたら自分のおしゃべりをとがめられたとでも思ったのでしょうか？

「ずくがない」という見出し語に対する：

《5版》	(物事をする) 気力がない。おっくうである。滑、旧観帖「わしはナア酔つて — からナア」
------	---

という記述が、少しはその雰囲気を伝えているかも知れません。初版ではさらに“信濃方言として現行”との注意書きが付けられていました。

### Ⅲ. 蘇民将来

繊維学部キャンパスから国道沿いに東へ行くと、信濃国分寺史跡公園があります。聖武天皇の勅願



蘇民将来符。大小いろいろあるが、デザインは同じ。六角形の各面に2文字ずつ「大福長者蘇民将来子孫人也」の文字が書かれている。左にある絵入りのものは、国分寺の檀家で作るもの。

によって、天平時代に建立された国分寺・国分尼寺の遺構がセットで出土したところです。今では市民のための健康的な公園になっていて、5月には藤の花や櫻の若葉が、また秋には櫻やドウダンツツジの紅葉が私たちの目を楽しませてくれます。

現在の国分寺はその公園とは国道をはさんで向かい側、河岸段丘を一段上がったところにあり、そのお寺が配るお札が蘇民将来符です。

毎年1月7日の夕方あたりからこのお寺の周辺に日本全国から大型観光バスが集まってきます。そしてあれよあれよと言う間にそれほど広くない境内はたくさんの人々で身動きも出来ない程になります。そう、このお寺の縁日は毎月8日。それで八日堂とも呼ばれるのですが、なかで

も 1 月 8 日は最大の縁日になります。そこへ全国から善男善女が集まってくるのですが、その人たちは皆、この蘇民将来護符がお目当てなのです。

#### そみんしょうらい【蘇民将来】

- 《初版》 ①疫病除けの神の名で、神符に記す文句。蘇民将来は南海の貧人。素戔鳴尊がこの家に宿った時、茅輪をかけて疫病を免れしめた故事に起るといふ。  
②福德を祈る護符の一。柳の木でつくり、六角で塔状をなす。男根をかたどる。「大福長者蘇民将来子孫人也」の十二字を一面に二字ずつ分書。長野県小県郡神川村国分寺址八日堂をはじめ諸国の寺院から出す。
- 《5版》 ①疫病除けの神の名。備後風土記に、茅 ち の輪を腰に着けて疫病を免れた説話を伝える。②護符の一。木製の六角または八角で塔状をなすものや守札があり、「大福長者蘇民将来子孫人也」などと記す。八坂神社末社や長野県上田市国分寺の八日堂をはじめ諸国寺院から出す。

要するに、旅で一晩の宿を乞うた素戔鳴尊のみすぼらしい姿を見て、富豪の家は体良くそれを断った。しかたなく素戔鳴尊は別の貧しい家に再度宿を乞い、今度は快く泊めてもらうことができた。翌朝彼はその家の者に「家の軒先に『蘇民将来の子孫の者である』と書いた札を掲げておくように」と言い残して旅を続けた。後年、宿泊を断った富豪の集落を攻め滅ぼすことになるのだが、蘇民将来のお札の家だけは対象としなかったという、よくある説話が基礎になっています。

蘇民将来護符の例は全国に広く見られ、その形もいろいろバリエーションがあるそうです。その中で信濃国分寺の作るものは最も形が整っていて工芸品としての価値も高いのだと言われます。材料となる木はこの近くに多く自生するドロヤナギと呼ばれる種類の柳だそうです。

なお、大学から歩いてでも簡単に行ける位、近くにある信濃国分寺の地籍は“上田市国分”ですが、初版の出た当時は“小県郡神川村”、つまり隣村だったことがこれでわかります。

このように古くから文化の開けた土地なので、その続きで繊維学部のキャンパスからも多くの遺跡が出ます。昨年春に行われた遺伝子実験施設建設予定地の発掘調査でも、弥生時代後期の集合住居跡と土器類が多数出土しました。

#### IV. 上田紬

上田市の代表的な地場産業の一つです。観光土産物屋さんなどの店先で、紬生地で作られた小銭入れやネクタイ、名刺入れなどをご覧になった人も多いと思います。

広辞苑には「上田紬」という見出しのかわりに「上田縞」で載っています。

## うえだじま【上田縞】

- 《初版》 上田地方から産する紬(つむぎ)の縞織物。原料は玉糸、地質堅牢。
- 《3版》 上田地方から産する紺縞・茶縞の縞織物、および白紬。永代蔵 —  
「 — の羽織にもめん裏をつけて」
- 《5版》 上田地方から産する紺縞・茶縞の縞織物、および白紬。永代蔵 —  
「 — の羽織にもめん裏をつけて」

井原 西鶴 の描く粋人の世界の風俗にも上田紬が取り上げられていることは驚きです。物資の交流が今とは比べものにならない位貧弱だったはずの当時、信州上田の物産の存在が、江戸にもちゃんと知られていたのですね。

上田縞は、特有の落ち着いた縞模様が人気を博していたわけですが、それ以上に上田紬の堅牢さは珍重されました。洗濯をくりかえす度に糸系の絹繊維が互いにかからまって、ますます丈夫な生地になって行くのだと言われます。「真田氏は強い(いくさ上手)。上田縞も強い」といって喜ばれたそうです。

なぜ紬が上田地方の地場産業となったのかというと、この地方、とりわけ西上田あたりが蚕種(カイコの卵)の全国的な生産地として発展していたからです。多少専門的な言葉づかいになりますが、「糸繭(いとまゆ)養蚕」でなく「種繭(たねまゆ)養蚕」が盛んだったと言えます。

繭からカイコの成虫(蛾)が羽化するのを待って、それらを掛け合わせて卵を産ませるのですが、こうして蛾が出てきた繭には穴があいてしまっていて、生糸を紡ぐことができません。したがってそのような「出殻繭」は真綿に加工し、これから糸糸を引き出すことになります。要するに出殻繭の利用技術から発達した産業と言えます。



いろいろな柄の上田紬

## 繊維学部に関連深い専門用語から

### V. 割愛

さて、カイコの卵を産ませるために雌雄の蛾を掛けあわせるのは上に話題にしたとおりですが、交尾をしている蛾は、そのままにしておくと半日も、あるいはそれ以上もの長い間つながったままです。

ただ、実際には交尾の時間は 3-4 時間程度で充分で、それ以上置くのは意味がありません。もちろん適当に雌雄の蛾が自発的に離れるのに任せても構わないのですが、そうすると産卵を始めるタイミン

グもまちまちになり、その後の管理や処置がしにくくなります。

そのため、ふつうは人手で雌雄の蛾を離してやります。少しばかりこつの要る作業ですが、この仕事を私たち蚕糸科学・蚕糸業の関係者は「割愛」と呼んでいます。

#### かつあい【割愛】

《初版》 惜しく思うものを思いきること。愛するものを手放すこと。

《2版》 ①惜しく思うものを思いきって手放したり省略したりすること。②養蚕で、交尾している雌雄の蛾を離すこと。

《4版》 ①愛執を断ち切ること。沙石集 九「— 出家の沙門、なんぞ世財をあらそはん」②惜しく思うものを思いきって手放したり省略したりすること。「紙数が尽きたので — する」③養蚕で、交尾している雌雄の蛾を離すこと。

《5版》 ①愛執を断ち切ること。沙石集 九「— 出家の沙門、なんぞ世財をあらそはん」②惜しく思うものを思いきって手放したり省略したりすること。「紙数が尽きたので — する」

このように第 2 版から取り入れられた蚕糸科学用語としての「割愛」ですが、最新版では文字どおり説明から「割愛」されてしまっていて、本来の意味だけになってしまっているのは、少し残念な感じが致します。

このように今まで見てきてすでにお気づきのように、広辞苑の説明には言葉の用例提示はあまり多くありません。それは広辞苑が国語辞典であるとともに、百科／現代語辞典としての性格も与えられているためでしょう。そのため、まだ日本語として完全に受け入れられていないような言葉も、「現代語辞典」の立場から最近積極的に採録されています。一例として、第 4 版で「いまいち」という若者言葉が見出し語に採り入れられて話題を呼びました。それに対して栃木県今市市が感謝状を岩波書店に贈ったというような話も新聞で紹介されたものです。いったい本心なのかブラックユーモアだったのか。

もっとも最近では試験答案やレポートに「いまいち」という表現が、確かにひんぱんに出てくるようになりました。これに当惑しているのは私だけでしょうか？

\* \* \*

このあと、いくつかの専門用語をはじめとして、当繊維学部に関連の深い言葉についてご紹介するつもりでしたが、少し長くなりすぎたので、一旦終わりにして次回に改めて書く機会を与えていただくつもり



です。

次回には他に、私たちが知らず知らずに間違っ使っている言葉も一緒に考えてみます。また、広辞苑以外にもたくさんある便利な辞書・辞典をご紹介しますと思います。

#### 参 考 図 書

- 1) 新 村 出 編 (1955): 広辞苑, 岩波書店, 東京.
- 2) - 5) 新 村 出 編 (1969, 1983, 1991, 1998): 広辞苑 第 2 版 ~ 第 5 版, 岩波書店, 東京.
- 6) 雑誌「図書」1998 年 10 月号, 岩波書店, 東京.
- 7) 川本 善之 (1986): わが春秋拾遺, 熊本壺溪塾, 熊本.
- 8) 牧野富太郎 (1961): 新日本植物圖鑑, 北隆館, 東京.
- 9) 栄養機能化学研究会 (1996): 栄養機能化学, 朝倉書店, 東京.
- 10) NHK ホームページ「ためしてガッテン 書庫」  
<http://www.nhk.or.jp/sci/gatten/archive/index.html>

## ♪♪♪ 分館通信 ♪♪♪



ここでは図書館からの最新の情報をお知らせしています。

次号 Library 発行までのお知らせは、Library 号外として構内の掲示板や繊維学部分館ホームページ(<http://shinlif1.shinshu-u.ac.jp>)でご案内していますので、そちらをご覧ください。

### ⇒ 図書館オリエンテーションについて

〇〇について書いた本を探しているのだけど図書館のどこにあるの？

××について調べたいのだけど何で調べたらいいの？

図書館にある端末やカードは何をするためのもの？

図書館を利用する際、図書館の利用方法や図書(文献)の探し方について疑問に思ったことはありませんか？目的の本が見つけれられない、図書館にある設備の利用方法がわからず使えなかった、といった経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。

### **図書館の有効な使い方を知ることは、学習・研究に多いに役立ちます！**

そこで、図書館では特に新2年生の方を対象に、主に図書館内の設備の案内・図書館で行っているサービスの説明会を行います。松本の中央図書館とは多少異なる点もありますので、是非、参加してください。実施時間は以下の通りです。

\*\*\* 参加される方は、開始時刻までに **図書館2F会議室** にお集まり下さい \*\*\*

4/11 (火)	4/12 (水)	4/13 (木)	4/14 (金)
13:30~		13:30~	
	15:00~		15:00~

\* 所要時間は30~40分ほどです。

また、希望者(グループ)・講座を対象に、ご希望に沿った内容のオリエンテーションも行いますので、繊維学情報係(内線:5015、担当:鳴澤・宮下)にご相談ください。

### ⇒ 土曜日の開館実施について

本年度より繊維学部分館も土曜日に図書館を開館します。この実施に伴い、時間外開館は下記のようになります。

月曜日～金曜日	17:00～20:00
土曜日*	10:00～16:00

\* ただし、土曜日が祝日の場合は閉館

今後も積極的に図書館を利用してください。

### ⇒ 図書委員会(H12.4.1+H14.3.31) および平成12年度係員の職部分担

平成12年度の図書委員会は以下の先生方で構成されます。

分館長	平井利博
運営委員	松瀬丈浩
応用生物科学科	保地真一
繊維システム工学科	西岡孝彦
素材開発化学科	川崎晋司
機能機械学科	渡辺義見
精密素材工学科	松瀬丈浩(運営委員と兼任)
機能高分子学科	藤本哲也
感性工学科	山浦和男

平成12年度の係員の職務分担は下記の通りです。

担当者	内線	e-mail アドレス	職務分担
杉本係長	5313	jfc7100@giptc.shinshu-u.ac.jp	分館事務総括
大槻修子	5016	sotsuki@giptc.shinshu-u.ac.jp	図書・雑誌の購入、別刷
鳴澤直子	5015	jfc7101@giptc.shinshu-u.ac.jp	文献複写(依頼)／現物貸借(依頼) 雑誌の製本、カウンターでの窓口
宮下 綾	5017	jfc1200@giptc.shinshu-u.ac.jp	図書・雑誌の目録 カウンターでの窓口業務
永井玲子	5016	jfc5102@giptc.shinshu-u.ac.jp	文献複写(受付)／現物貸借(受付)

\* 図書館の利用案内、各種検索端末の操作方法、資料の所蔵確認などは係員全員が担当しますので、お気軽にお尋ね下さい。

4月の人事移動により、繊維学部分館のために尽力してこれらました峯村係長が転任いたしました。新たに2名のスタッフを迎え、新メンバーでこれまで以上に一生懸命努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

# 分館日誌

(1月～3月)

- 2/16 第8回 図書委員会
- 2/17 館長分館長懇談会 出席者－中沢分館長
- 2/22 第2回 信州大学附属図書館講演会(SUNS) 出席者－学内教職員  
講師 大庭一郎氏(図書館情報大学)  
『大学図書館と公共図書館における  
図書館職員の職務のあり方－社会の変化や  
新しい情報環境に対応するために－』
- 3/9 第3回 全学図書関係係長会議 出席者－峯村

## 編集後記

3月も末というのにいつまでも寒い日が続きましたが、それでも確実に季節はめぐって、いよいよ春らしい陽気になってきました。春は別離と邂逅のとき。

大学の大変な変革期にあつて、図書館もそのありようを大きく変えつつある中で4年間、分館長として繊維学部図書館また信大全体の図書館のあり方を誠実にお考え続けてこられた中沢先生が3月末で任期を全うされました。有難うございました。

4月からは平井先生が新分館長になられ、早速お言葉をお寄せ頂きました。学生の皆さんの学習・教育のための図書館として、また大学院生や先生方の研究支援の図書館として、新分館長のもとにスタッフ一同、気持ちを新たに努めてまいりたいと思いますので、新年度もどうぞよろしく。(峯村)

次号は7月の発行を予定しています。利用者の皆さんの声も Library に掲載したいと思いますので、ご意見・書評など何でもお寄せ下さい。係員に直接、または E-mail での寄稿もお待ちしております。

E-mail アドレスは、[jfg0100@giptc.shinshu-u.ac.jp](mailto:jfg0100@giptc.shinshu-u.ac.jp) です。